

2019年度第4回理事会

1. 日時：2019年12月14日（土） 13:00～16:05
2. 場所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階 会議室 8
3. 出席者：
理事：総数27名中 松丸喜一郎会長 田村恒彦副会長 袴田登喜造副会長兼専務理事
岸高清常務理事 溝部政司常務理事 永谷喜一郎常務理事 大野明敏常務理事
鍵山博常務理事 横山幸子常務理事 三木容子常務理事 平井宏治理事
佐橋朋木理事 藤井彌理事 源洋子理事 成山悟史理事 寺澤良悦理事
高橋信吾理事 田中辰美理事 麻植芳靖理事 柳田勝理事 田口亜希理事
松島愛理事 横沢聡理事 尾崎和郎理事 山下晃弘理事

以上出席25名

- 監事：総数2名中 石崎和男 香西俊輔 以上出席2名
4. 議事録署名人：松丸会長、田村副会長、袴田副会長、石崎監事、香西監事
 5. 袴田専務が13時00分に理事25名出席で成立するとの宣言をした。
 6. 議長：代表理事 松丸喜一郎
 7. 松丸会長挨拶

松丸会長より、ミュンヘンで12月6日にISSF臨時総会があり、透明性の高いガバナンスの効いた運営をしていく趣旨の定款変更が決議されたとの報告があった。さらに本日も円滑な審議をよろしくお願ひします、と挨拶があった。

<審議事項>

1. 東京2020オリンピック競技大会50m種目代表選手内定について
田村選手強化委員長より資料1のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く、50メートル三姿勢女子代表に平田しおり選手、補欠に砥石真衣選手、同男子代表に松本崇志選手、補欠に橋爪一馬選手の内定を承認した。
2. 東京2020オリンピックQP獲得に対するコーチボーナスの支給について
田村選手強化委員長より資料2のとおり説明があった。大野常務より結果論だがWCとアジア選手権でのQPは価値が異なると思うし、コーチだけでなく選手へのインセンティブも考えるべきであったように思うので、今後の参考にしてほしいとの意見があった。藤井理事より今回はQP獲得選手が自動的に五輪代表にならないルールなので、選手本人にもボーナス支給をしてはどうかとの意見があった。石崎監事よりコーチボーナス基準については個別案件として理事会承認は今後事前に取りようにしてほしいとの意見があった。
質疑の後、議長がQPを獲得した四選手にも各50万円支払うことも含めて諮ったところ全員異議無く、2020オリンピックQP獲得に対するコーチボーナスの支給を資料2のとおりとすること、QPを獲得した平田しおり、遠藤雅也、山田聡子、秋山輝吉の四選手にもそれぞれ50万円を支給することを承認した。
3. 2020年JOCネクストシンボルアスリート推薦について
田村選手強化委員長より資料3のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く、平田しおり選手を推薦することを承認した。
4. 2019年度NT選手選考基準及び海外派遣要綱変更案について
田村選手強化委員長より資料4のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く、2019年度NT選手選考基準及び海外派遣要綱変更を資料4のとおりとすることを承認した。

5. 2020年度NT暫定要綱案について

田村選手強化委員長より資料5のとおり説明があった。補足として松丸強化本部長がP13の2.(3)、(ア)の後段「更に認められる場合」については、テストマッチの出場についてISSFから特段の指定が無かった場合が前提とさせていただきたいとの説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く、2020年度NT暫定要綱を資料5のとおりとすることを承認した。

6. 東京2020オリンピック競技大会選手選考要綱変更案について

田村選手強化委員長より資料6のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く、2020オリンピック競技大会選手選考要綱を資料6のとおりとすることを承認した。

事前通知した議案のうち

7. 東京2020オリンピック競技大会追加QPの選手選考方法について

8. 2020年度育成アスリート指定基準及び海外派遣要綱案について

は2月の理事会審議に延期すると田村委員長より説明があった。

9. 公認審判員の承認について

平井審判部会長より資料9のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く、3名の地方公認審判、1名の本部公認審判を承認した。

10. 記録の公認について

源記録部会長より資料10のとおり説明があった。その中でRFPの588点については屋内でのタイ記録であるので処理をどうするのかも含めて改めて次回理事会にはかるとの追加説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く、資料10のうちRFPの記録を除き13件の日本記録・国内最高記録について承認した。

11. 倫理委員会審議案件について

横山総務委員長より資料11のとおり静岡県ラでのパワハラ行為の訴えについての調査結果と処分案について説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く、資料11のと通りの調査結果および武嶋茂氏を戒告処分とすることについて承認した。

12. 拠点射撃場整備計画の承認

岸高事務局長より資料12のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く、神奈川県立伊勢原射撃場の整備計画について承認した。

<報告事項>

1. 委員会報告

1) 総務委員会

・2019年度上半期決算結果について

袴田専務理事より資料13のとおり報告があった。

・ASC総会での役員改選結果について

松丸会長から11月にクウェートにてASC総会が開催されて役員改選が行なわれ、松丸会長がASC副会長に選任された。との報告があった。

・ISSF臨時総会での審議結果について

松丸会長から12月6日にミュンヘンで定款変更を議題とする臨時総会があり、原

案にあった1国2NFを認めないように変更するとの案は取下げられた。との報告があった。藤井理事よりさらに定款変更について 無記名投票を可とする要件を2割から3割に引き上げ、委任状の禁止、臨時総会開会請求の要件を25ヶ国以上から三分の一以上に、加盟団体の除名を総会ではなく理事会で決められるように変更する件、大会の開催地決定を総会から理事会に変える件について審議の結果可決した、との報告があった。

・総務委員会委員選任について

横山総務委員長より資料14改1に記載のとおり袴田副会長を総務委員財務部会長に選任し、田村副会長は総務委員のまま残っていただくとの報告があった。

・日ラ中長期計画策定体制について

袴田専務より資料15のとおり体制、方針で中長期計画の策定作業を進めることを報告した。

・射撃指導員新規指定状況について

袴田専務より資料28のとおり射撃指導員の新規指定について調査の結果13件の新規推薦に対する県警側の制約があることが把握できており、警察庁に改善をうながしていききたい。また日ラとして会員の射撃指導員資格の状況も把握していききたいので各加盟団体の協力もお願いする、との報告があった。

2) 推薦委員会

・9月10月11月推薦委員会審査結果について

大野推薦委員長より資料17のとおり推薦委員会の審査結果について報告があった。

3) 国体委員会

・茨城国体報告

茨城県ラ遮那理事長よりお礼のごあいさつがあった。

鍵山国体委員長より資料18のとおり茨城国体の成績報告があった。

・鹿児島国体リハーサル報告について

鍵山委員長より鹿児島国体のリハーサルは、結果として地元の対応や意識を改善する必要がある点が見られた、との報告があった。

・鹿児島国体Kカードと大会要綱について

鍵山国体委員長より資料19および資料20のP49とP53の男子50m三姿勢東北で4が3に、東海で2を3とする訂正報告があった。また6. 監督の参加資格についてはまだ日ラB級認定コーチ取得の条件は反映できておらず、三重国体以降で対応したい、との報告があった。松丸会長より鹿児島国体の監督資格に日ラB級認定コーチを条件と明記まだできないのは、認定コーチがいない県があるからかと質問があり、そうだと鍵山委員長が答えた。さらにこれに関連して成山指導者育成部会長より資料27により認定コーチB資格未取得加盟団体が7県あり、早期の申請インテグリティ受講を呼びかける説明があった。松丸会長よりこの進捗は理事会ごとにチェックしたいとの発言があった。

・三重国体リハーサル要綱について

鍵山委員長より資料21のとおり報告があった。

・佐賀国体正規視察報告

鍵山国体委員長より資料22のとおり説明があり、さらに25m競技以外については県外開催を考えているとの報告があった。

・青森国体正規視察報告

鍵山国体委員長より資料 23 のとおり説明があり、会期前開催の希望があり、今後検討する、との報告があった。

4) 選手強化委員会

- ・東京 2020 オリンピック選手第 1 次選考会 (50m ライフル) 結果報告
田村選手強化委員長より資料 30 のとおり五輪 1 次選考の結果報告があった。
- ・第 14 回アジア選手権大会成績報告
田村選手強化委員長より資料 24 のとおりアジア選手権において遠藤雅也選手、平田しおり選手、秋山輝吉選手、山田聡子選手がそれぞれ Q P を獲得するなどの結果の報告があった。
- ・選手強化委員会委員の異動について
田村選手強化委員長より資料 14 改 1 のとおり説明があり、その中で選手強化委員会の毛塚明善委員が退任するため削除するとの資料訂正があった。また、毛塚委員については、6 月のジュニア WC ズール大会で選手に注意をした際に高圧的であったとの選手からの訴えがあり、毛塚コーチもこれに責任を感じて謝罪するとともに JOC コーチを辞任したことにもなう部会長と委員退任の異動報告があった。
- ・東京 2020 オリンピック選手第 1 次選考会 (10m25m) 結果報告
田村選手強化委員長から資料 25 のとおり第 1 次選考通過者について報告があった。

5) ジュニア育成委員会

- ・2020 年 1 月日米ユニバ合同合宿について
三木ジュニア育成委員長より資料 26 のとおり報告があった。

6) 2020 東京オリパラ準備運営本部

- ・東京 2020 大会 NTO および SSV の状況について
袴田オリパラ準備運営本部長から、講習会や五輪選考会での役員訓練などで NTO のトレーニングが大詰めとなっており、また入出国スタッフはアメリカチームの手続きをリハーサルとして実施し、SSV は組織委員会と連携してうまく結びつけていきたい、との報告があった。
- ・テストイベント出役者への派遣依頼文について
溝部常務より東京オリパラ組織委員会からテストイベントと五輪での派遣依頼に相当する文書を送るので、該当 NTO の方は 4 月のテストイベントスケジュール表でも自分の業務日を確認してほしい。との報告があった。

7) 競技運営委員会

- ・2020 年度日ラ主催競技会等計画案について
佐橋競技企画部会長より別添資料 1 のとおり報告があった。(資料中で複数の訂正箇所があり内容は添付の正誤表どおり) その中で資料裏面の後援競技会については要綱は事業計画冊子には入らないが、会員への利便性を考慮してホームページには要綱を掲載するとの補足説明があった。
補足説明として、いままで G3+ であったが記載していなかった関東学生の春と秋を表に入れ、広島のパistol大会は G3 に変更依頼があり裏面記載となった。また主催の 5 月 9 日からの全日本選抜熊本は震災復興支援の特別開催である。朝霞の 25m 射場は使えなくなるとのことで春秋全国パistolの 2 試合で千葉開催となった。ビームパistolスポーツ大会春夏秋冬についてはランクリストに反映してほしいとのことでランクリスト大会にしている。さらに大人のビームライフルも可として、ビームのランキングを大人と子供にしたい。との説明があった。
大野常務より春夏秋冬全国パistol大会は推薦可能回数維持の周知のためにも紙

の事業計画に掲載継続してほしいとの発言があった。佐橋理事が紙での表の裏側の公認競技会計画には入れ、HP 掲示の要綱に入れる対応とすると回答した。

・ナショナルチーム選考会でのファイナル実施について

大野常務よりNT選考会はファイナル実施は不要でG2としなくても良いのではないかと意見があり、それにたいし藤井理事よりNT選考会でも海外に出る選手や役員のトレーニングの意味から実施して欲しいとの発言があった。田村選手強化委員長より、多くの選手の参加をさせたいし、25mはファイナル機会が国内で少ないことを解消したいなどのニーズがあり、柔軟に対応したいとの発言があった。

・2020年度の競技会事前用具検査とワнтаイムオンリー検査について

溝部競技運営委員長より資料29のとおりワнтаイムオンリー検査の状況や、2020年度のG1大会は事前検査を実施するなどの方針の報告があった。

・ミックスチームルールの変更情報について

溝部競技運営委員長より資料29のP79以降のとおりミックスチームのルール変更について報告があった。その中で本選の第1部はステージ1に第2部はステージ2に訂正するとの補足説明があった。

8) 普及生涯スポーツ委員会

・NRAJ認定コーチの申請対応について

成山指導者育成部会長より資料27のとおり、山梨県の武川氏、群馬県の上原氏の認定コーチBの認定について報告があった。さらに認定コーチB資格の取得者がいない県が7県あり、このインテグリティ受講促進について協力要請の報告があった。

9) その他

・障害者連盟のQP獲得について

田中辰美理事より水田光夏選手が10月のパラ世界選手権大会男女混合エアライフル伏射SH2においてわが国の東京パラリンピック出場権を獲得したとの報告があった。

・ライフルイズビューティフルの放映について

門間広報部会長より10月13日からアニメが放送されており、バンダイナムコによれば、海外も含めSNSへの書き込みが多数あり反響が広がっている、あと4回の放送があるとの報告があった。また、日本テレビの正月番組TOKIOのウルトラマンDASHで一ノ渡選手が出演する、との報告があった。

・日大遠藤雅也選手アスナビ就職

三木常務から、NT選手である日本大学の遠藤雅也選手がJOCのアスナビ事業により愛知県春日井市の名阪急配に就職が決まった。毎日の練習も可能との報告があった。

2. 会務報告

岸高事務局長から名誉会員の吉川貴久氏が10月12日に亡くなられたとの報告があった。

尾崎理事からテストイベントの公開はどうなるのか質問があり、袴田副会長から、観客を入れるようにNFから組織委員会に交渉中である、報道についても組織委員会で調整中と回答があった。

16時05分に松丸議長が閉会を宣言した。

2020年1月15日

議事録署名人

公益社団法人日本ライフル射撃協会

議長、代表理事（会長）松丸喜一郎

松丸喜一郎



代表理事

田村恒彦

田村恒彦



代表理事

袴田登喜造

袴田登喜造



監事

石崎和男

石崎和男



監事

香西俊輔

香西俊輔



[参考資料]

2019年度第4回理事会資料訂正正誤表

2019年12月14日(土)13:00~16:05に開催された公益社団法人日本ライフル射撃協会2019年度第4回理事会において資料の訂正があり、訂正内容も含め議決、報告された資料正誤内容は下記のとおり

<審議事項>

12. 拠点射撃場整備計画承認について

1. 追加申請

1) 神奈川県営伊勢原射撃場50m射場(関東ブロック拠点)

申請者 神奈川県ライフル射撃協会

整備内容 50mファイナル用モニター5台、~~同~~ミックスファイナルバージョンアップ(総額2,067千円)の2文字分削除する

<報告事項>

3) 国体委員会報告

・鹿児島国体Kカード配分表 資料20

P49の表中のFR3×40の北海道東北ブロックは「4」とあるものを正しくは「3」に、同東海ブロックで「2」とあるものを正しくは「3」に訂正する。

・鹿児島国体要綱 資料20

P53の5予選方法の表中の成年男子FR3×40の北海道東北ブロックは「4」とあるものを正しくは「3」に、同東海ブロックで「2」とあるものを正しくは「3」に訂正する。

7) 競技運営委員会

・2020年度日ラ主催競技会等計画案

別添資料1中の訂正

①8月の全日本小中BR会場について和光とあるのは未定に訂正。

②関連事業の4月のテストイベント「ISSF」を削除。

③8月のブロック予選で北信越の会場福光ではなく南砺市に訂正。

④8月の四国ブロックは担当は徳島県ではなく香川県に訂正。

⑤4月のテストイベントの大会名称は正式に「READY STEADY TOKYO-Shooting」に訂正。

以上